

# 赤い靴通信 438号

朝刊で伊勢佐木町の不二家建て替えのニュースを見て感無量です。戦争をくぐり抜けた86年の建物は、学生の頃には並びの有隣堂と共にお世話になったものです。不二家が初めてできたのは元町です。今の喜久家の場所と記憶していません。母は自分の通っていた女学校が近くにあったのでなじみがあったのでしょうか。私を時々連れて行ってくれました。一番印象に残っているのは冬にアイスクリームを食べたことです。その時代は、アイス系はこのお店にも冬の期間にはありませんでした。伊勢佐木町に不二家ができた時は、学生仲間と行き、ホットドッグやパンケーキとミルクなどの飲み物をよくオーダーしたものです。

戦争が終つてから進駐軍に占拠されましたが、ビルの前で老女がマンドリンを奏でながら、戦時中流行った唄♪さらばラバウルよ、また来るまでは、しばし別れの涙がにじむ♪のラバウルを横浜に代えて繰り返し歌って、アメリカ兵の評判を得ていました。

私が始めてフォークとナイフを使って食事したのはその近くにあった西洋料理食堂で先輩に誘われて行きました。旧制中学一年の時でした。カウンタ―を挟んで調理人とお客が向かい合うつくりでした。改造前は日本料理屋だったと思います。学生服を着て来るようにと言われて、少々暑い日でしたが、霜降りの詰め襟を着て行きました。ウエイトレスからナプキンを渡され、膝の上に掛けて下さいと言われました。まずスープが出ました。スプーン、ナイフ、フォークはすでに並んでいました。当時はレタスなどはなかったもので、野菜はキャベツのみでした。お茶碗にご飯ではなく、平皿にライスが出て来ました。先輩はこの食べ方には、コツが要るのだと言って、左手でフォーク、右手にナイフを持ち、フォークの反った方を上にして、ナイフですくったライスをその山にのせ、口に運ぶのです。この動きに慣れるには少し時間を要します。始めて食べた洋食はあじのフライでした。

それから時がたつてアメリカに行く機会ができました。羽田からDC8のジェット機でロスアンジェルズに着きました。迎えに来てくれたスポサーの方はお腹が空いただろうと言って、その人の友人が最近オープンしたという、パンケーキハウスに連れて行ってくれました。大きなお皿に大きなパンケーキが10枚重なっていたのには驚きましたが、シロップも美味しかったので、全部平らげました。驚いたことにその店でアイスクリームのテイクアウト用のスーパーカップを1ヶ買い、お世話になる彼の家に着いてから、ラーメン丼ほどの器に丸くすくう器具で10個くらいづつに分けてくれて寝る前に食べたのです。不二家では一つで驚いた私です。夜中にお腹を壊すのではないかと心配になり、日本ではお母さんが寝る前には食べさせないよと言ったら、牛乳系だから大丈夫と言っていました。本当に大丈夫でした。今ではフォーク、ナイフ、スプーンもどこの家でもレストランでも自由に使っていますが、今でもフォークの背中にライスをのせて食べている人はいるのでしょうか？日本人だけではないかと思うのです。

さて、横浜市民子どもミュージカル10周年記念「横浜うらしま伝説2023」の4回公演は、夏休み最後の週末のためか、例年になく観客数を心配しておりますが、回を重ねる毎に人また人の世界になりました。舞台上も1回毎



横浜市民子どもミュージカル「横浜うらしま伝説2023」8月26日(土)・27日(日) 舞台風景 関内・小ホール 藤原俊太郎氏 撮影

の伸びしろが凄く千秋楽は全てにおいて大満足の回になりました。

当日のアンケートも80通を越えて寄せられました。●音響の音量や暗転の時間などがとても良く、物語の世界に入り込むことができました。手拍子や拍手など私たちもミュージカルの世界に入れて空気が一体になったと思う(10代) ●たまたま友人に誘われてきたが、小学生高校生とは思えないほどのハイオリティ、生き生きとした演技に感動して泣いた。今までの人生で見えてきたミュージカルの中で一番素晴らしいと思った。(20代) ●横浜らしさだけでなく「環境問題」や「相手を思いやる」ところも伝わり心温まるものでした。(40代) ●本当に皆一人一人の個性が活かされ素晴らしい舞台でした。本日はありがとうございました。(50代) ●子ども達の熱意が伝わってきてあつという間に時間が過ぎ楽しいひとときでした。「歩こう会」で10数年前に神奈川県うらしま伝説について尋ねたことがあり、伝えられているお話を発展させて今の私達の生活を考えさせてくれること大変良いと思いました。(70代) ●みんな素晴らしいかったです。また、来ます。今回の作品を楽しみにしています。(年齢記載無し) など嬉しいお声を皆さまと共有したいと思います。30数年前に私が書いた「浦島太郎」公演が神奈川県公会堂で催されましたが、横浜市の区民ミュージカルの事始めでした。浦島は亀の代わりに「KAME88」と書いた口ケツで宇宙の「ドラゴンパレス」に行きました。元の物語からこれからも進化し続けるミュージカル舞台が楽しみです。

第17回の東六忌は8月18日、あかいくつスタジオで行われました。ゲストに野中正先生をお迎えし、東六先生の作品より♪シヨパンのムード、♪月とジブシー娘の対話、のピアノ演奏をザ・シワクチャーズ横浜と横浜☆男声合唱団の皆さんで聴き、♪らっかさんのうた、♪水色のワルツほかを歌い、久々に混声合唱を楽しみました。来年は生誕120周年を迎えますが、東六先生のパリ留学時代の日記を島根大学の藤井浩基教授が纏められ出版されるということです。船で45日もかけて行く時代のパリでの交友録、結構面白いようです。9月1日は関東大震災から100年。現在102歳の蒲田敏子さんは先日ので東六忌でも歌われていましたが、当時2歳で九死に一生を得たといひます。私が生まれる6年前の事、そして物心つく頃の山下公園の復興博覧会の思い出は次回号でお話したいと思っています。

令和5年8月31日付(9月8日発行) 団長 松永春



第17回東六忌 8月18日(金)

## 今後のスケジュール

- ★10/15(日) 10:30~11:00  
「東京湾大感謝祭」  
場所：横浜市庁舎 1Fアトリウム  
出演：横浜市民子どもミュージカル  
観覧無料 ※詳細後日
- ★10/22(日) 11:00~12:00  
「子どもミュージカルお礼公演」  
場所：横浜市麦田清風荘  
出演：横浜市民子どもミュージカル  
天才!あやとりサトシ君  
観覧無料 ※詳細後日
- ★11/12(日) 11:05~11:25  
「ハローよこはま」  
場所：象の鼻パーク特設ステージ  
出演：赤い靴ジュニアコーラス  
観覧無料 ※詳細後日
- ★12/24(日)・25日(月)  
「クリスマスキャロル」(各回・20分)  
場所：ヨコハマグランドインター  
コンチネンタルホテル 1Fアトリウム  
時間：各日①15:30~ ②17:00~  
出演：赤い靴ジュニアコーラス 赤隊  
観覧無料